

20 年を超える玉川とベルリン・フィルハーモニー管弦楽団員との友情が響く

The Power of Singing

歌の力

日時：11月18日(月)
15:00 - 16:00

場所：チャペル

- ◆ 玉川の学生・中高生・教職員対象
- ◆ 予約不要 *満席の際は入場をお断りする場合があります

主催：玉川大学・玉川学園

問合せ先 berlin-phil@tamagawa.ac.jp



Tamagawa-Berlin Philharmonic Members Education Program 2019

テーマ The Power of Singing ～歌の力～

当日のプログラム

- ・挨拶 メンバーの紹介
- ・日本民話(合唱のみ)
- ・ベートーベン弦楽四重奏 Op.18 No.4 in c-minor (カルテット演奏)
- ・オーラ・ヤイロ「The Ground」(合唱 & カルテットの合奏) など

アマデウス・ホイトリング (第1ヴァイオリン)

1984-現在 ベルリン・フィル正団員

1999-現在 ドイツ・オーケストラ協会代議員

両親ともにヴァイオリニストだったので、自然にヴァイオリンに興味を持と、学ぶようになった。著名な音楽家である父、ヴェルナー・ホイトリング、アンドレ・ゲルトナー、ドロシー・ディレイに師事。ベルリン・フィルハーモニーに入団してからは、教育活動にも熱心に取り組み、若手演奏家の育成に力を入れている。1990-2000 年にかけてベルリン芸術大学の講師を務め、北ドイツのシュレスヴィヒ＝ホルシュタイン国際音楽祭、ジュネス・ミュージカーレ(国際ユース・オーケストラ)、ドイツ連邦青少年管弦楽団で若手音楽家の指導をした。ソリストや室内楽奏者として積極的に活動するかたわら、様々なベルリン・フィルの室内楽グループにヴァイオリン奏者としても参加している。



玉川とのつながり:

1998 年に玉川大学文学部芸術学科でマスタークラスを指導。その後も、ベルリン・フィルやナイジェル・ケネディなどの著名な演奏家との来日公演の度に来園。

ライマー・オルロフスキー(第2ヴァイオリン)

1991-現在 ベルリン・フィル正団員

所属活動団体:

ベルリン・バロック・ゾリステン、コンチェルト・メランテ(ベルリン・フィルの古楽器アンサンブル) ベルリン・フィルハーモニー・ブラームス・アンサンブル



ヘルベルト・コロスキー、ヴェルナー・ホイトリング(ホイトリング氏の父)、トーマス・ブランディス、ヴァルター・フォルヒェルトに師事。シュトゥットガルト・バッハ・コレギウムやヨーロッパ室内管弦楽団など、様々なアンサンブルで演奏。1993-2002 年まで、ベルリン・アポス四重奏団のメンバーとして活動。1995 年、17 世紀・18 世紀の音楽(バロック音楽から古典派音楽)を演奏するベルリン・バロック・ゾリステンを設立する。また、古楽器で演奏するコンチェルト・メランテも設立し、バロック・ヴァイオリンで古楽(古典派以前の西洋音楽)を演奏している。1993 年以降、ベルリン・フィル・オーケストラ・アカデミー、夏季音楽アカデミー、国際ユース・オーケストラで講師を務めている。音楽学者としては、バロック時代の作曲家達の失われた作品、とりわけゲオルク・フィリップ・テレマンの作品を再発見し、校訂した業績が高く評価されている。愛器は、1706 年にミラノでカルロ・ジュゼッペ・テストレーによって作られたヴァイオリンである。

玉川とのつながり:

2013 年度の教育プログラムから参加。以来、来日公演の度に来園。

マッシュー・ハンター (ヴィオラ)

1996-現在 ベルリン・フィル正団員

ベルリン・フィルハーモニー・ブラームス・アンサンブル、ベルリン・フィルハーモニー・ストラディヴァリウス・ゾリステン、ベルリン・フィルハーモニー弦楽六重奏団



7歳から音楽を学ぶ。ジュリアン・オレフスキー、ローマン・トートンベルグ(カール・フレッシュの弟子)、マイケル・ツリー、ハイメ・ラレードに師事。1985 年、米国シンシナティの音楽大学にて、川崎雅夫のアシスタントをする。ダートマス大学で哲学の学士号と音楽芸術の修士号を修める。ヴァイオリニストとしてのキャリアで研鑽を積んできたが、26 歳の時、ダークチョコレートのようなヴィオラの旋律に魅了され、ヴィオラに転向。1998 年に、ギー国際ヴィオラコンクールで優勝。カナダ国立芸術センター管弦楽団の次席ヴィオラ奏者を経て、ベルリン・フィルに入団。ギターでマーラーの交響曲第7番を演奏したり、ベルリン・フィルハーモニー・ストラディヴァリウス・ゾリステンのような室内楽団でも演奏する。2003 年より、ベルリンのハンス・アイスラー音楽大学で教えている。

玉川とのつながり:

2011 年度の教育プログラムから参加。以来、来日公演の度に来園。

ディートマール・シュヴァルク (チェロ)

1994 年-現在 正団員

所属活動団体: Berlin Philharmonic Capriccio, Philharmonic Camerata, 12 人のチェリストたち



チェロを弾いている友達に憧れ、12 歳の時に父親に懇願してチェロのレッスンを受けるようになった。どんどん才能を発揮し、アルトゥール・トレスター、ヴォルフガング・ベッチャー、ビエール・フルニエに師事。いくつもの賞を受賞し、ベルリン放送交響楽団(現在のベルリン・ドイツ交響楽団)との共演デビュー。1983 年から 1989 年はクロイツベルグ弦楽四重奏団で演奏し、またベルリンの芸術大学でも教えた。その後、シュトゥットガルト放送交響楽団で 4 年間演奏した後、1994 年にベルリン・フィルに入団。また、同管弦楽団の室内楽の演奏者として、ヴィンセント・トリオ、12 人のチェリストたち、フィルハーモニア・カルテットなどのアンサンブル・グループでも演奏している。色々なことに興味を持ち、プライベートでは、テニス、東方正教会の典礼、観劇、家具作り、読書、ヨット、ジョギング、ピアノ、自転車と多趣味。玉川には、今回、初めて来園する。

* メンバー達が、玉川の子ども達と学生に贈ったメッセージは UCH の廊下の壁(視聴覚センター側)に展示されている。

玉川大学合唱団

1947 年の創立期から活動。メンバーが集まると、自然に合唱がはじまり、レパートリーは約 300 曲。愛吟集、賛美歌など、玉川で愛されている歌だけでなく、J-POP やミュージカルソングなど誰もが楽しめる合唱を目指し、学内外でハーモニーを響かせている。